

「第 38 回議会報告会」に関するアンケートまとめ

【質問①】講演を聞いた感想

・今までの自身の一般質問は、果たして自己満足で終わっていたのか？市民生活に直結する課題を求めてきたつもりであったので、自己満足するつもりはない。質問を資源とする考え方を学べ、課題共有に取り組めればと感じた。

・「一般質問を市民と議会の資源にするには」を聞いて大変勉強になった。一般質問という制度をかみくだいて分かり易く解説され、より一般質問を充実させるポイントを示唆してもらい、有意義な講演だった。本当にいそがしい中で、土山教授にお越しいただき、温かいご教授に心から感謝する次第である。

・土山先生、お忙しいところ、ありがとうございました。特に一般質問の内容については、勉強になった。議会が一つにまとまること（各議員の合意）は、非常に難しいと思うが、議員一人ひとりの努力・協力が必要不可欠だと感じた。

・自身の一般質問が「行政に影響できているか」「行政からの回答が、やり過ぎされていないか」など、反省しなければと思いました。一般質問を議員ひとりのものにしないシクミ作りなど、今後の課題のように思いました。

・一般質問の項目の内容について、機会を捉えて追跡すること、市当局の政策との整合性を図ることの重要性について、再確認した。議論している中で、追求どころを見失い求めている答弁を引き出せないはがゆさがあるので、研鑽を重ねていきたい。

・一般質問は自治体の政策・制度をよりよいものとするための、政策に対する監査と政策提案の機会ということを再認識できました。今後、議員としての活動に、今日学んだことを生かしていこうと思います。

・「一般質問を市民と議会の資源にするには」市全域で共有すべき課題は、委員会等で取り上げ、議会全体として取り組むことにつながられれば、議員個人で取り上げるより影響力が出てくるというお話であった。それができるのが理想であるし、チーム議会としてのまとまりで政策立案をしていくことにつながられれば、個人の一般質問も市民と議会の資源になるのだと思う。しかし、実際にはその仕組みづくりなどの課題が多いと感じた。

・一般質問を起点として、どのように政策につなげていくのかという点については大変有意義講演でした。また、議会モニターさんと共有できたことは良かったと思います。

・政策連携の可能性について、質問内容をあらかじめ議員間で共有して連携し易くする。通告書を執行機関に提出する前に、議員間で通告書レベルの質問内容が共有できれば議員同士で連携する方法も選択しやすくなるのではないか。質問の内容が被った時に、どう「調整」するか、役割分担など視点を変えたりして質問の効果を高めることになる。また、議員間連携で質問する事が出来るのであれば、もう一步踏み込んで一般質問に活かす事を念頭に特定のテーマを学ぶ「勉強会」を開くこともできるのではないか。「チーム知立市議会」として取り組むことが重要である。

・議員固有の機能である一般質問を、個人のパフォーマンスではなく議会として活かして、市民福祉の増進に努めていくことができれば、多様な議員が居る議会から活発な政策提言ができ、議会として機能強化が図れる。チーム議会の環境が醸成されてきた知立市議会もそろそろ一般質問の機能向上に努める時期ではないかと思う。

・相変わらず良かったです。方向性は間違っていなかった所以自信をもって一般質問ができます。

・一般質問について、市民に不可欠なテーマ、要求を議会全体のものとして共有、実現することについて、わかっている様でわかってなかったと認識をしました。

・一般質問は、議員個人の活動からの気づきに基づき、様々な角度・視点により調査を行い、まちをよくするため政策・施策提言や施策改善案を提言するため行うものである。しかし、先進性や独自性を意識するあまり、個別的な質問になってしまっていたり、エビデンスに基づかない独りよがりな質問になってしまっていないかという問いかけに、改めて我が身を振り返った。夢を語りすぎてもいけないし、反面実情・現状ばかり慮っている、市民から議会不要論が噴出してしまふ。現状と将来ビジョンとのバランスを測り、いかにまちをよくするための資源となる一般質問とするかご指導いただいた。議員間連携や委員会政策提言など、議会改革への取り組みが明確となった。

・大変勉強になりました。講義を通して議会が市民に対してどれだけ理解されているのか、また一般質問はどうあるべきかについて深く考える機会を持つことができました。今回の土山教授の講義で学んだ事を今後の一般質問に活かせるよう勉強して参ります。

・土山教授の視点からでの一般質問のテーマで、とてもわかり易い講演であった。一議員による一般質問の限界があり、制度を活かした議会全体での政策提言が他の地方議会の例があるので調査します。コロナ禍の中でありながら来て頂き、土山教授に感謝です。

・一般質問を考えるうえで「市民全体の利益（公益性）」と地域の要望とをバランスよくテーマを考えたい。いずれにせよ、市民の福祉の増進や生活・市政の発展のために行うのであって、そこに住む人のニーズや困りごとに根付いた対応をしていきたい。

- ・議員個々の一般質問をフォローアップしていくことは、ハードルが高いが、タイムリーなテーマについて全体で取り上げる必要もある。議員の大きな権能として一般質問を政策に活かすべき。

- ・一般質問の有効な活用方法など基本的な考え方を再認識させてもらうことができて良かった。1人の意見で進めるのではなく、みんなで作っていくという点に共感しました。

【質問②】意見交換等を行った感想

- ・グループ内が議員だけだったので、同じような意識を持っていたように感じる。各議員のバックにみえる支援者、団体等の考え方の方向性で、一般質問がなされる場合もあるので共通課題としていく資源が必要。

- ・地域町内の問題点は、各市議が共有できるものは話し合う場所と時間を作ることが必要である。

- ・モニターさんの中には一般質問はただ単に意見を述べるだけの弁論大会のようなものと思われていた状況も知ることができた。市民に対するいろいろな周知や制度紹介の必要性また、市民との意見交換の重要性を肌で感じることもできた。

- ・他議員の率直な意見を聞くことができ、自らの参考になった。「共有」することの必要性、大切さが共有できた。

- ・オンラインでの議会報告会に全国各地の方々からの参加に驚きました。議長・田中議員・議会事務局の技術に感謝です。オンラインで参加の自治体の方々からの直接のコメントも聞きたかったです。

- ・意見交換、議論は非常に大切なことで、情報は正確に共有しなければならない。ややもすると欠落しているように感じることもある。

- ・モニターさんとの意見交換のなかで、議員との情報共有する場が少ないとの意見をいただきました。モニターさんをお願いして参加していただいている以上、今後の課題だと認識しました。

- ・世代や居住地域によって、共有できるテーマや課題が異なるし、視点も違うため、各々のスタイルで取り組むのが一般質問であるということ。一般質問を義務化すると良さが無い質問になりかねないということは、グループ内でも同意見であった。市全域で共有すべき課題を議会全体で取り上げていくための仕組みづくりが重要であるということを強く感じた。

・一部、意見の強い市民と同じグループでしたので、意見交換というものは達成できたかという点においては不十分でありました。

・議会報告会の「目的」「意義」そして「一般質問」についてグループ間で意見交換をした。目的と意義については、①市民に対する説明責任の機会、②市民からの意見聴取の機会、③市民からの政策課題の提起を受ける機会、④議会活動を伝え、信頼を醸成する機会、議会に対する理解者や共感者を増やす機会である。「一般質問」については、土山教授の講演の中で具体的に示して頂きました通り、共有する事の有効性を認識しました。そのことによって、政策議会として「進歩し、進化、成長」するものと考えます。

・市民は議会・議員と交流する機会があれば、色々な話をしてくれる。議会モニターさんを含め、もっと市民との交流を増やすことで、議会・議員が自らの活動を振り返り、更なる機能向上を目指すための指針となることを実感した。

・議会モニターさんと本音で話し合えて良かった。

・モニターさんの多様な意見、特に「聞くだけの質問では」との問いかけは、自分の質問を振り返る良い機会となりました。

・質問対象の施策背景理解不足や、調査不足による質問の深掘り不足のご指摘に対しては素直に反省するところ。個別問題への指摘から大局的な視点へ質問を昇華させる点について今後とも取り組んでいきたい。

・モニターさんを含め4人で意見交換を行いました。モニターさんから議会に対する様々なご意見を伺い大変参考になりました。一般質問通告書については、市民の方へ提示の必要性を確認することができました。

・モニターさんがお二人いたグループにいました。知立市議会の場合、一般質問は概ね機能している。大きい議会は機能しにくい。議会全体での政策提言にするには、議員間協議が不足している。

・先輩議員の「地域や後援会の声を大切にしたい」という思いには深いものを感じた。議員はオールマイティー（全般）に対応しなければならないのか、今後も考えていきたい。

・モニター活動は議会を理解する上でとても有益。もっと一般の方に傍聴してもらい議会への理解を深めて頂くため事前に議会の内容、特に一般質問のテーマ等について周知すべきでは。

・市民の方々の意見を聞いて有意義な時間を過ごせました。今後の自分の一般質問に深みを持たせることができそうです。

【質問③】 その他、全体を通しての意見・感想

・オンライン開催となったので全国からチャットではいって頂いた意見、コメントが多くあり刺激を受けた。朝から参加して頂いた議会モニターさんには、本当に感謝。良きうるさ方でいただきたい。

・オンライン開催を市議会ホームページ・広報・町内回覧で告知して有り、会場に来ることなく気軽に参加してもらえると期待したが、まだまだ浸透していなかったようだ。

・講師を招いての議会報告会は、議員の研修と市民への公開や情報提供など、非常に有意義な事業であると痛感しているので、継続して実施すべき。また、市民の政策的思いを把握する上で、直接参加の新たな事業等も、そろそろ導入に向けて協議することも今後の重要なテーマと考えている。

・コロナに敏感な方もおみえですので、落ち・漏れのないよう、的確なコロナ対策を行う必要があると感じた。コロナ対策として、時間短縮を図った方が良いかと感じた。

・ありがとうございました。新型コロナ「まん延防止等重点措置」の中、中央公民館での開催は、心身ともにご苦労されたとお察しします。お疲れさまでした。

・一般質問についてなぜ機能していないのかについて、論点の背後にある問題意識の共有ができていないこと。そして、下調べが十分でないため、説得力に欠けることを反省点として認識できました。今回の議会報告会はコロナ禍の為オンラインの配信になりましたが、やめることなく続けることができたこと、また、モニターさんから率直な意見がきけて課題も共有できたことがよかったと思います。

・今回も、土山先生の貴重なお話をお聞きすることができ、意見交換もとても有意義なものとなりました。コロナ禍により、事務局さんやPTのみなさんに感染防止対策やさまざまな準備等をしていただきましたこと、感謝申し上げます。また、こういった新しい取り組みにご理解とご協力をいただき、チーム知立市議会として取り組めたことも大変うれしく思います。今後につながっていくことを切に願います。

・土山教授から事例（他自治体の取り組み）がわかり、大変わかりやすい講義でした。一般質問の活用、一般質問のその後など、今後の活動に活かしていきたいと思いました。

・モニターさんから、土山教授の「一般質問」に関する講演を議員と一緒に拝聴できたことは非常に良かった。しかし、コロナ禍での開催であり、天候も悪く、前例のない長丁場（9:00 から 16:00 過ぎ）は配慮が足りないと言いたい、反省すべきとの意見もありました。議員と事務局と先生の都合であろうがモニターにも相談して頂きたい。この

様な苦言がありました。とは申されましたが、土山教授のライブでのご講演はモニターとしても非常に有意義で良かったとも意見を頂きました。モニター各位の多様な意見が寄せられました。先ず、1年延期して開催した高校生議会の開催については議会改革そのものだと評価いただきました。一方では、モニター制度を始めたばかりである知立市議会に「フリースピーチ制度」の方が良いとする意見やモニターとして平日の参加は厳しい。市議会だより～「知立市議会です」こんにちは～非常に読みやすくなった！午前中の第2回モニター会議に引き続き、6名のモニター様が参加頂けたことは一番の成果だと思います。知立市議会の取りくむ「議会改革」が市民の皆さまに少しずつですが、ご理解されてきた証であります。議会改革に終わりはありません。次なる「議会改革第2ステージ」に邁進すべきと思うところです。何よりも、オンライン参加が、北海道から、沖縄までの全国40名弱と、まさに時代はDX時代と痛感しました。大変楽しく参加〈開催〉できた実感しています。

・オンラインとの同時開催が実現できることは、市民だけでなく知立市議会の活動に関心を持っている全国の議員ともつながることができ、率直な意見を聞くこともできた。参加して下さった市民の方も、機会を得たことに感謝の言葉もいただき、今後も地道にサポーターを増やしていきたいと思う。オンラインのみということについては急な変更ではあったが、もともと同時開催という案内はあった中で、市民のオンライン参加者を増やしていくためには、広報がまだ不十分に感じる。議会としての広報も重要だが、個々の議員がもっと参加者を募る活動をしていく必要があるのではないかなと思う。「議会報告会」という名称が、敷居を高くしているのではないかな？というご意見をいただいた。確かに基本条例でも「議会報告会」と明示しているが、機能としては議会報告会として、名称はもう少し市民に親しみを持ってもらえる、敷居の低い名称を前面に出してPRすることを検討してはどうか。「報告」がメインではなく「対話」がメインであれば、「報告会」の中で「意見交換」をするのではなく、「対話の会」のなかで「報告」をさせてもらう形であれば、敷居が下がるのではないかなと思う。

・これからも引き続きお願いしたい。

・オンライン参加の市民の方、現場にて参加された市議会モニターの方ともに、議員へ直接疑問を投げかけ回答を得るという対話方式の運営について一定の評価をいただいたと感じている。また、オンライン同時開催は、新たな参加者層の獲得できたなど、議会報告会の次なる可能性を見出した。今後とも参加者の満足度の高い、そして参加し易く且つ参加したくなる議会報告会の実現に向け議会一丸となって取り組んでいきたい。

・オンラインでの開催により、今まで参加できなかった方々や幅広い層の方の参加で、貴重なご意見を頂くことができ大変良かったと思います。講義の中で、課題を共有することの必要性を強く感じました。

・今回は、午前からモニター会議と長丁場であったが、モニターさんとの意見交換が、と

でも楽しくあっという間に終わった感じでした。と言うか時間が足りないぐらいでした。オンライン参加の方の様子がわからない状態なのでその辺改善できればと思う。

- ・モニターの方が一緒に意見交換できてよかったと思います。

- ・オンライン参加の方が全国から意見等をお寄せ頂きオンラインの効果を実感した。オンラインの設定についてマスターする必要があるのでは（全員）。グループディスカッションでは全テーブルにモニターの方が1人でも入ってもらえるとよかったのでは。